

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス のこのこプラス平岡		
○保護者評価実施期間	2024年 11月 5日		～ 2024年 12月 7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22人	(回答者数) 18人
○従業者評価実施期間	2024年 11月 5日		～ 2024年 12月 7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5人	(回答者数) 5人
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 25日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	環境整備が整っている。	生活空間をわかりやすく構造化している。学習室と余暇スペースが分かれている。必要に応じてクールダウンの部屋を使用することができる。	必要に応じて、各スペースを活用し、心地よく過ごせるようにしていきたい。
2	職員の子どもへの共感的支援がなされている。	子どもの特性やその日の様子に合わせて、気持ちに寄り添った支援ができるように心がけている。	職員間で子どもの情報共有を行い、子どもの観察を怠らず、変化に気づくことが出来るようにしていく。
3	子どもが安心して楽しく通所できる。	職員が明るく元気に子どもを受け入れ、子どもに対して真摯に向き合い、子どもの言葉に耳を傾け、安心して楽しく通所できるように対応している。	職員が子どもと「楽しく過ごしたい」子どもの「できたをふやしたい」という思いをもち、職員自身が楽しく職務に当たることで、子どもの「安心」「楽しい」に繋げていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族の対応力向上のための機会(研修)がもうけられていない。	個別の対応は行っているが、全体に対する研修などはできていない。	今後、外部講師の方をまねいた研修などを開催できるように、検討していきたい。
2	地域の子ども、人々との活動、交流の機会が少なく、地域に開かれた運営がなされていない。	開所して1年経っておらず、体制が整っていない。	児童館などと連携を図り、交流できる機会を作っていく。
3	非常災害についての訓練をしているが保護者の方に十分に周知されていない。	年に数回の訓練のため、全児童が参加できるわけではない。	保護者にブログでの公開をしていることを改めてお伝えし、あわせてお便りなどで訓練を行ったことを周知できるように工夫していきたい。 訓練に参加できなかった子ども達には違う形で、非常災害についてどのように対応すべきかを伝えていきたい。